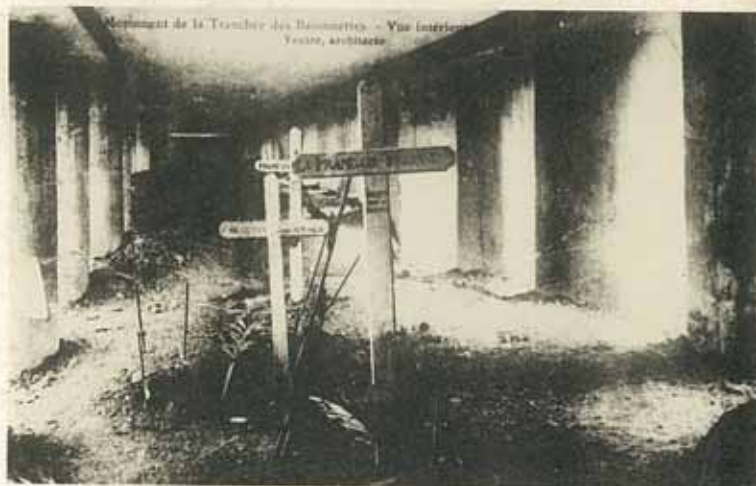


二十二・ 其 他 (其一)



ガス投射機彈の御検閲中將校に御下問あらせらるゝ英國皇帝陛下



「ゲエルゲン」の銃劔の塚:「ゲエルゲン」を死守せる佛軍某部隊は獨軍のガスの爲に中毒致死し其儘埋没せられ銃劔のみ地上に現れあり



北佛「マルバツシュ」「ムールト」及「モーセル」地方に於ては大戦末期老若男女を問はず常に防毒面を携行するの必要に迫られたり圖は當時の寫眞にして一九一八年九月の撮影に係るものなり (N. W.)

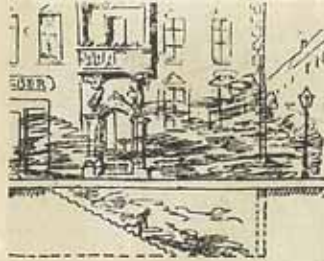
二十二・ 其 他 (一)

ガス攻撃を受けたる際の行動 (其一)

誤れる行動

正しき行動

室内にてガス爆撃を受けたる時



ガスの流れ行く
地下室に遁入す



空気の清浄なる
家屋の上層を求む

室外にてガス爆撃を受けたる時



ガス雲内に佇立して
手にて掻搔く



手拭を口と鼻に當て風と反對
の方向に向ひてガス雲を遁る

液體毒物の飛沫を蒙れる時



毒物の飛沫を手にて
拭ひ手に傷を受く



毒物の飛沫に直接手を
觸れず手拭にて拭去る

二十二・ 其 他 (二)

ガス攻撃を受けた際の行動 (其二)

誤れる行動

正しき行動

屋内にある時



戸口に滞留す

地下室に赴く

屋前にガス爆弾の落着せる時



窓を開く

窓を閉め窓掛を閉め可及
的氣密を計る

夜 間



電燈を点じたる儘窓邊に
赴く

静に横臥す

二十二・ 其 他 (三)

ガス攻撃を受けたる際の行動 (其三)

誤れる行動



敵のガス攻撃の場合性急に装面して接着不完全なる時は一命に係る危険あり

正しき行動



完全にガスを防護するには防毒面の顔面接着良好なるを要す



小體なる者は防毒面を装着するもガス雲の爲恐怖を感じ戦闘任務を遂行する能はず



勇敢なる者はガス雲中にあるも戦闘を繼續す



ガス急襲を受けたる部隊は重大損失を蒙るを常例とす



休憩中と雖ガス警報は慎重に準備しあるを要す



喇叭及呼號に依るガス警報は長時間に亘り傳達するを得ず



ガス警報器には警笛警鐘の如く口を以て動作せしむるの要なき器材を使用するを要す



歐洲大戰に於てはガス警報と同時に防毒面を装着せざる者は敵の攻撃に抗する能はざりき



遅くもガス警報に接して防毒具を使用すれば悠々と敵の攻撃に對抗するを得

二十二・ 其 他 (四)

ガス攻撃を受けた際の行動 (其四)

誤れる行動

正しき行動

ガス攻撃後脱面
早きに失する時
は重大なるガス
中毒を結果す



防毒面はガス攻
撃後命令を待つ
て初めて之を脱
除すべきものと
す

軍隊がガス急襲
を受け又はガス
攻撃の際ガスの
侵入し易き地下
室に遁入する時
も亦重大なる損
失を蒙るものな
り



地下室に於ても
防毒面は待機姿
勢に保つを要す

ガスは低地に流
るるを以て低地
に在る軍隊は特
に危険なり



之に反し高地に
ある陣地はガス
弾射撃後ガス雲
の消散迅速なり

森林に於てもガ
スは長時間残留
するを以て森林
中に在る軍隊は
危険に曝露しあ
り



森林外部に於て
はガス雲の消散
迅速なり

背囊と同時に防
毒面をも脱除す
る者はガス急襲
を受くる時重大
危険に陥るべし



休憩時と避防毒
面は装着しある
を要す、然る時
はガス攻撃ある
も恐るゝを要せ
ず

二十二・ 其 他 (五)

ガス攻撃を受けた際の行動 (其五) 誤れる行動 正しき行動



防毒面無くして
は敵のガス攻撃
に耐ゆる能はず



防毒面を装用す
れば毒ガス中に
在りても戦闘に
従事するを得



ガス攻撃を受け
て始めて携行姿
勢に保てる携帶
袋より防毒面を
取出しては適時
にガスを防ぐ能
はず



経験ある兵は
ガスの危険ある
時は常に防毒面
を待機姿勢に保
持す



狼狽して装面す
る時は過ちを生
じ易く其爲に生
命の危険を招來
す



呼吸を止め
目を閉じ
口を出す

防毒面は呼吸を
停止しつつ、確實
に且冷静に之を
装着す



眼鏡子取換の際
硝子の中央を持
つ時は汚して不
透明ならしむ



曇りたる眼鏡子
は適時携帶袋よ
り取出して慎重
に取換ふ



覆面小に過ぐる
時は眼と眼鏡子
の位置一致せず、
之が爲に視界を
制限せらる



覆面顔面に適合
する時は眼に對
し眼鏡子は適當
の位置にあり

二十二・ 其 他 (六)

ガス攻撃を受けた際の行動 (其六)

誤れる行動

正しき行動

靱面の破損せる
時之が修理法を
心得ざる者は生
命の危険を招来
す



僅少な破損は
看護卒の携帯す
る伴創膏を貼り
應急修理を施す



戦闘間防毒面の
破損せる時は躊
躇すべからず



防毒面の破損せ
る時は應急處置
として鼻を摘み
吸収罐を口に當
つべし



連結管の破損せ
る時は手巾を捲
くも効果なし



連結管の破損せ
る時は吸収罐を
靱面内に挿入し
て連結管を使用
せず



腐蝕せる防毒面
は氣密不完全な
り



防毒面は使用後
拭淨して腐蝕を
防止す



防毒面を脱除す
る時期早きに失
するは中毒の原
因なり



防毒面を脱除す
る前には先づ眼
を以てガスの有
無を見次に嗅の
有無を驗し然る
後試験的に脱除
せよ



